

米国マサチューセッツ工科大学(MIT)による、世界的権威を持つテクノロジー誌
『MIT テクノロジーレビュー [日本版] Vol.4』は7/12(月)発売

専門記者が最新動向を詳しく解説「世界を変える 10大テクノロジー」
mRNA ワクチン開発者のロングインタビューを敢行「mRNA 治療の未来」

株式会社角川アスキー総合研究所（本社：東京都文京区、代表取締役社長：加瀬典子）は、『MIT テクノロジーレビュー [日本版] Vol.4』を、2021年7月12日（月）に発売します。

MIT テクノロジーレビューは、米国マサチューセッツ工科大学によって創刊されたテクノロジー誌で、米国版においてはテクノロジー部門の責任者や経営層を中心とした読者層を形成しています。日本版は株式会社角川アスキー総合研究所がライセンス契約し運営しています。



アスキームック

MITテクノロジーレビュー [日本版] Vol.4/Summer 2021

定 価：本体2,000円+税

発売日：2021年7月12日

判 形：A4判/128ページ

発 行：株式会社角川アスキー総合研究所

発 売：株式会社KADOKAWA

雑誌コード：63692-84/ISBN：978-4-04-911054-8

※電子版は主要電子書籍ストアにて7月19日発売予定

公式サイト：

<https://www.technologyreview.jp/>

当誌概要

『MIT テクノロジーレビュー [日本版] Vol.4』では、現在もっとも注目するテクノロジーを発表する米国版人気企画「世界を変える 10大テクノロジー」を特集。今年には新型コロナウイルス・ワクチンの開発で脚光を浴びた「メッセンジャーRNA」技術、人間並みの文章を自在に生成できる人工知能 (AI) 技術「GPT-3」、電気自動車 (EV) 普及の鍵を握る「次世代バッテリー」など幅広い分野の注目テクノロジーを、専門記者が最新動向を交えて詳しく解説します。mRNA ワクチンについては、開発者の1人であるペンシルベニア大学のドリュー・ワイズマン教授のロング・レポートを掲載し、ワクチンにとどまらない mRNA 技術を使った医療の未来について考察しています。

また、特別企画としてマイクロソフト創業者のビル・ゲイツ氏のインタビューを収録し、深刻な世界的課題である気候変動への対応について、氏ならではの見解と提言を掲載しています。2021年以降の新規事業や投資分野の選定に役立つ、世界のイノベーション動向を俯瞰できる一冊となっています。

主な収録記事

■2021年版ブレイクスルー・テクノロジー10

1. メッセンジャーRNA ワクチン
異例のスピードで実用化された「メッセンジャーRNA ワクチン」
人類にもたらす福音
2. GPT-3
言葉を紡ぐ人工知能「GPT-3」の雄弁さにひそむ愚かさ
3. TikTok のおすすめアルゴリズム
無名でもバズる秘密「TikTok のおすすめアルゴリズム」
4. リチウム金属電池
安くて長持ち「リチウム金属電池」は EV 普及を加速できるか
5. データトラスト
テック企業に対抗「データ信託」は個人情報を集団で守る
6. グリーン水素
脱炭素の本命に浮上「グリーン水素」が欧州で動き出す
7. デジタル接触者追跡
ライバルが異例の協力「デジタル接触通知」から何を学ぶのか
8. 超高精度測位システム
誤差わずか数センチ「超高精度測位」が世界を包囲する
9. リモートシフト
世界中の暮らしを変えた「リモートシフト」
この先残るもの、残らないもの
10. マルチスキル AI
「マルチモーダル AI」が人間の知性を超えていく



■特別インタビュー

ビル・ゲイツが語る気候変動の処方箋
「富裕国は人工肉に 100%移行すべき」

■特別レポート

ベールに包まれた世界最高峰の頭脳集団
「オープン AI」の知られざる実像



■MIT テクノロジーレビューについて

『MITテクノロジーレビュー (MIT Technology Review)』は1899年に米国マサチューセッツ工科大学によって創刊された、世界で最も歴史と権威があるテクノロジー誌です。米国版の読者層は、その8割超がテクノロジー部門の責任者であり、6割が経営層です。日本版は株式会社角川アスキー総合研究所が米Technology Review Inc.とのライセンス契約のもと、2016年10月から会員制Webメディアとして運営。2020年からは紙媒体・電子書籍『MITテクノロジーレビュー [日本版]』を発行しています。

[日本版] 公式サイト

<https://www.technologyreview.jp/>

■株式会社角川アスキー総合研究所について

角川アスキー総合研究所は、KADOKAWA グループのメディア総合研究所です。KADOKAWA グループの持つコンテンツ力、メディア力、リサーチ力に関する技術力を活かし、すべてのお客様に貢献すべく、課題となる重要テーマに日々取り組んでいます。

角川アスキー総合研究所 公式サイト：<https://www.lab-kadokawa.com/>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社角川アスキー総合研究所 MIT テクノロジーレビュー編集部
pr@technologyreview.jp